

病 院 だ よ り

委員会からのご報告

安田／伊藤

心臓をCTで診る!!

松田 督

「立ち会い出産」はじめました

中村・川副

国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡1-28-1
TEL 045(813)0221 (代表)
FAX 045(813)7419 (庶務課)

URL <http://shinzen.jp>

国際親善総合病院看護部
モバイルサイト



病院だより

「防災・消防訓練の実施」

当院では、年2回以上を目標に防災訓練を実施しています。今年度は夜間・早朝時等医療従事者及び職員が手薄な時間帯を想定して9月2日(木)に訓練を実施しました。

具体的には地震後に火災が発生した場合の訓練として、各職場での地震発生初期対応訓練及び避難通路の再確認と放水消防訓練を実施しました。

国際親善総合病院は泉区の災害拠点病院に指定されています。災害発生時には医療従事者及び職員が患者さんと病院を守る自覚と行動が求められています。訓練で得た経験を活かして今後とも病院の役割を十分に発揮できる体制づくりを強化して参ります。



防災対策委員長 安田 達典

「病院周辺の美化清掃活動報告」

- ◆ 実施日時：2010年9月13日(月) 17:45～18:30
- ◆ 実施場所：病院周辺
- ◆ 参加人数：60名
- ◆ 活動内容：院内美化清掃

「病院内だけでなく病院の周りもみんなできれいにしよう!」というサービス質向上委員会の提案で、病院周辺の美化清掃活動を行いました。

今回は、委員会のメンバーだけでなく、職員からの有志を募り村井院長をはじめ、総勢60名で一致団結して清掃活動に励みました。

当日は、今年最後の残暑厳しい中ではありましたが、用意した清掃用具を使い駐車場や植え込みの中の空き缶、ペットボトル、煙草の吸殻などを集め、45分間程度の短い時間ではありましたが、見違えるほどきれいになりました。

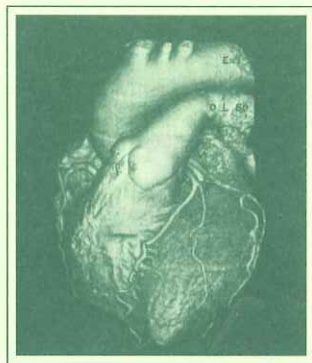
国際親善総合病院の職員は、地域の皆さまが気持ちよくご来院いただける環境作りを今後も継続して行きます。



サービス質向上委員長 伊藤 美恵子

心臓をCTで診る！！

現在、日本人の死因の第二位を虚血性心疾患といわれる狭心症や心筋梗塞が占めております。この疾患は心臓に血液を供給する冠動脈が動脈硬化によって狭くなり、心筋に十分な血液が送られなくなるために起こります。一般の方は動脈硬化が序々に進行し、血管が完全に詰まっていくまでに猶予があるとお考えかもしれませんが。検診で異常がなければとりあえず大丈夫と思われる方も多いと思います。しかし実際には何の前触れもなく元気だった方が、ある日突然心筋梗塞を発症し死に至る事が多くあります。最近の研究の成果で心筋梗塞のメカニズムがはっきりわかってきました。心筋梗塞の原因となった冠動脈を顕微鏡で観察すると、もともとあった血管の狭窄度は軽度で、実は血管の内側にある動脈硬化（プラークといいます）がまるで火山の噴火のように一気に破裂して血管のなかに飛び出し、一瞬にして血の塊が形成され完全閉塞に至ることがわかって来たのです。もし破裂する前に冠動脈プラークの存在を知ることが出来れば、厳格な食事管理・薬などを早期に徹底し、心筋梗塞を未然に防げるかもしれません。その大きな期待をもって生まれたのが「冠動脈CT」なのです。これは心電図検査や採血検査では全く見当がつかない冠動脈の性状を最小限の侵襲（被爆・造影剤仕様）で、かつ外来で評価出来る検査です。今回はこの最新鋭の「冠動脈CT」について適応・有用性・注意点についてお話出来ればと思います。



循環器内科医長 松田 督

ご案内

このテーマは

平成22年11月12日(金) 15:00~約1時間の健康懇話会にて

講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

「立ち会い出産」はじめました

現代は少子化、少子化と言われていますが、当院の産科では毎日たくさん新しい命が誕生し、活気に満ち溢れています。出産スタイルも昔は産婦さんが1人で産み、ご主人は外で待っているという姿が一般的でしたが、最近ではご家族みんなで赤ちゃんの誕生を迎えるというスタイルが増えつつあります。当院でも、以前から「夫にずっとそばにいてほしい」「上の子に赤ちゃんが生まれるところを見せてあげたい」など、立ち会い出産を希望される声は多かったのですが、なかなか実現できずにいました。今年もLDR (Labor Delivery Recovery)



という出産の始まりから終わりまで、ご家族でゆっくりと過ごせる部屋ができたのをきっかけに、念願であった立ち会い出産を始めることができました。

立ち会い出産といっても出産の場に突然入るのではなく、陣痛の間もご家族と一緒に過ごし、赤ちゃんと会えるまでの時間を十分に味わっていただきたいと思っています。そのため、出産の準備やイメージづくりができるよう助産外来や母親学級のお手伝いをさせていただいています。これまでに立ち会い出産をされた方々には、「夫婦の絆が深まった」「息子が手を握って励ましてくれた」「娘が優しくいたわってくれる」といった声をいただき、みなさんの笑顔を見ていると、私たちスタッフも満ち足りた気持ちになります。これからも、たくさんの方々の幸せな出産をお手伝いできたらと思います。立ち会い出産や助産外来、母親学級は私たち助産師が主体となって取り組んでいますので、お気軽にご相談ください。

2C病棟 助産師

中村麻子 川副亜偉子